

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県に於ける平成30年1月～3月期の合材出荷数量は、前年同期対比91%と前年を17,042トﾝ下回る162,411トﾝとなった。この要因は、全般的に舗装工事量が少なく公共工事、民間工事共に合材需要が減少していることと例年以上の降雪が大きく影響した。特に1月前年対比84%、2月前年対比53%と落ち込みが大きく、3月は前年対比113%とやや取り戻したが合計での実績を回復することはできなかった。

地区別では、中越地区は1月前年対比40%、2月前年対比19%と降雪の影響が最も大きく、合計は25,234トﾝ・前年対比69%・11,366トﾝ減となった。下越地区は2月前年対比55%で降雪の影響もあり、合計は111,708トﾝ・前年対比93%・8,976トﾝ減となった。上越地区は、工事量が比較的多く施工も順調に進んで降雪の影響を払拭し、全ての月で前年を上回って合計は20,175トﾝ・前年対比124%・3,864トﾝ増となった。佐渡地区は、1月は順調に推移し前年比126%であったが、合計は5,294トﾝ・前年対比90%・564トﾝ減となった。

第1四半期の動向は、降雪により順延された工事分の出荷はあるものの大幅な工事量の増加は見込めず、合材出荷の伸びは期待できない状況である。また、1月にストレートアスファルトが大幅に値上がりし、その他重油等の油脂類も値上がりした。今後もアスファルトや油脂類の価格は上昇基調と考えられ、合材工場の状況は増々厳しくなると推察する。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における平成30年1月～3月期、出荷状況は、県計で7万6千tで前年同期と比べ16%の減となった。地区別でみると東部地区が4万4千tで15%の減。西部地区は3万2千tで18%の減となった。毎年の第4四半期、年度末の出荷量はなかった。今後も公共工事、民間工事ともに大型物件は少なくなり、さらにストレートアスファルト、骨材の値上げで工場は厳しい状態にある。新年度も全県内で工事量の期待は薄い。

石川県

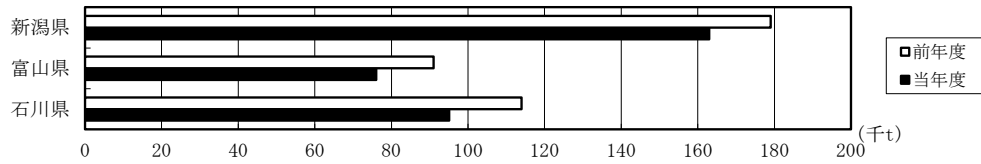
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における平成29年度1月～3月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比15.1%減、能登地区で前年比21.4%減、1、2月の大雪による工事減の影響もあったのか石川県全体では前年比16.7%減となった。

年間合計では加賀地区が8.2%の減少、能登地区が10.7%の減少となり、石川県全体で昨年、一昨年と約45万トンの出荷を維持してきたが今年度は約41.5万トンのとどまった。

今年度もアスファルト関連については大きな物件も少なく、加えて主要材料であるアスファルトは価格上昇の様相となっており一段と厳しい状況となっている。

アスファルト合材出荷量の推移(1月～3月)



(単位：千t、%)

県	地区	平成28年度 年計	平成29年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲9 160	25 45	6 51	15 69	25 20	16 185
	中越	5 364	▲4 80	▲9 100	▲11 119	▲30 26	▲11 325
	下越	▲12 585	12 138	0 149	▲11 172	▲7 112	▲2 571
	佐渡	▲7 26	20 6	17 7	▲33 6	▲17 5	▲8 24
	県計	▲7 1,135	9 269	▲2 307	▲8 366	▲9 163	▲3 1,105
富山県	東部	▲10 284	2 63	▲15 67	▲16 76	▲15 44	▲12 250
	西部	▲19 208	54 57	5 60	▲24 57	▲18 32	▲1 206
	県計	▲14 492	21 120	▲7 127	▲20 133	▲16 76	▲7 456
石川県	加賀	3 352	10 71	1 83	▲19 95	▲15 73	▲8 323
	能登	▲4 103	8 19	0 26	▲23 24	▲20 22	▲11 92
	県計	1 454	11 91	0 109	▲20 119	▲17 95	▲9 415

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員 32 社のうち 32 社

富山県

会員 14 社のうち 14 社

石川県

会員 18 社のうち 12 工場分

◎参 考 資 料

アスファルト出荷量の推移（1月～3月期）



(単位：千t、%)

県	地区	平成28年度 年 計	平成29年度				累 計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新 潟 県	上 越	▲ 9 5.6	25 1.6	6 1.8	15 2.4	25 0.7	16 6.5
	中 越	▲ 5 12.7	▲ 4 2.8	▲ 9 3.5	▲ 11 4.2	▲ 30 0.9	▲ 11 11.4
	下 越	▲ 12 20.5	12 4.8	0 5.2	▲ 11 6.0	▲ 7 3.9	▲ 2 20.0
	佐 渡	▲ 7 0.9	20 0.2	17 0.2	▲ 33 0.2	▲ 17 0.2	▲ 8 0.8
	県 計	▲ 7 39.7	9 9.4	▲ 2 10.7	▲ 8 12.8	▲ 9 5.7	▲ 3 38.7
富 山 県	東 部	▲ 10 9.9	2 2.2	▲ 15 2.3	▲ 16 2.7	▲ 15 1.5	▲ 12 8.8
	西 部	▲ 19 7.3	54 2.0	5 2.1	▲ 24 2.0	▲ 18 1.1	▲ 1 7.2
	県 計	▲ 14 17.2	21 4.2	▲ 7 4.4	▲ 20 4.7	▲ 16 2.7	▲ 7 16.0
石 川 県	加 賀	3 12.3	10 2.5	1 2.9	▲ 19 3.3	▲ 15 2.5	▲ 8 11.3
	能 登	▲ 4 3.6	8 0.7	0 0.9	▲ 23 0.8	▲ 20 0.8	▲ 11 3.2
	県 計	1 15.9	11 3.2	0 3.8	▲ 20 4.2	▲ 17 3.3	▲ 9 14.5

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量 (千t) = アスファルト合材量 (千t) × 3.5%」